

5 - 3 東海地方における地震活動の変化 (1990 年 11 月 ~ 1995 年 11 月) On the Change of Seismic Activity in the Tokai District (November, 1990-November, 1995)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第 1 図a, 第 1 図bは東海地方における最近 5 年間のマグニチュード (M) 3.0 以上深さ 60km以浅の地震活動の変化を示したものである。また, 第 2 図には, 同じく最近 10 年間についての地震活動の変化を示した。これらの図に示した A, B, C, 3 領域の地震活動において見られる主な変化は次のとおりである。

A 領域: この領域の北半分では定常的に地震が発生している。南半分の大部分は海域となるが, 最近特に目立った変化は見られない。

B 領域: 本年 4 月 18 日に駿河湾北部であった地震 (M5.1) と湾内の駿河トラフ付近の活動のため, やや活発な活動が見られる。この駿河湾内の活動については後述する。1989 年 7 月から 1995 年 11 月までにこの領域で発生した地震は 74 個であった * 1)。

C 領域: 本年 5 月の三宅島近海の地震, 同 9 月 ~ 10 月の伊豆半島東方沖の群発地震活動, および同 10 月の伊豆半島南方沖 (神津島近海) の群発地震活動により, 最近活発な状態にある (本巻別項参照)。

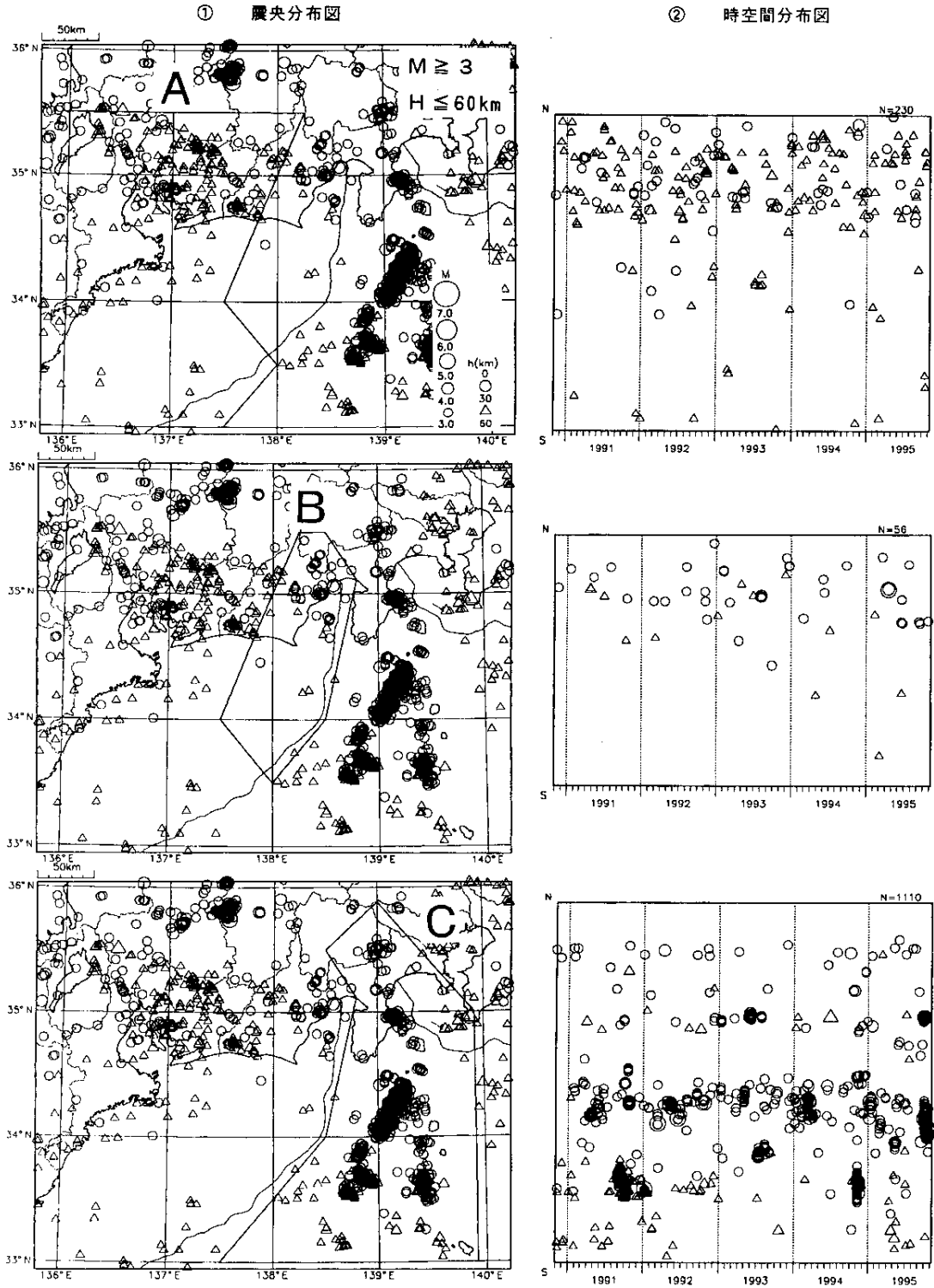
最近, 駿河湾内の地震活動が目立つようになったが, この付近の地震回数は 1991 年頃から増加傾向にある。第 3 図は 1988 年以降の湾内の活動を示した。図中の台形枠内の領域で, 特に 15 km から 30 km までの深さの活動は 1991 年頃から増加を示しており 特に今年に入ってから数を増している。しかし, 周辺の体積歪計の観測点においては地震時の変化以外, 顕著な変動は見られない (本巻別項参照)。

* 1) これら 74 個の地震は以下のとおり。1989 年 7 月から 1995 年 4 月までの 64 地震については, 連絡会報第 44 巻 ~ 54 巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No.	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
65	1995	06	19	11	54	3.0	21.8		駿河湾中部
66		06	22	00	36	3.2	45.3		駿河湾南方
67		06	22	03	21	3.6	22.3		駿河湾中部
68		06	22	03	54	3.4	22.1		駿河湾中部
69		06	23	04	01	3.5	25.1		静岡県中部
70		06	26	13	17	3.3	25.4		駿河湾中部
71		07	28	12	24	3.0	19.0		赤石山脈
72		09	14	10	53	3.4	21.4		駿河湾中部
73		09	19	04	56	3.1	22.0		駿河湾中部
74		10	29	03	44	3.1	20.5		駿河湾中部

(No.65 ~ 74 は暫定震源)

東海地方における地震活動の変化 (1) 5年間 (1990.11.1-1995.11.9)



暫定 (気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 東海地方のA, B, C領域における5年間の地震活動 (1990年11月1日~1995年11月9日: M3.0以上, 深さ60km以下)

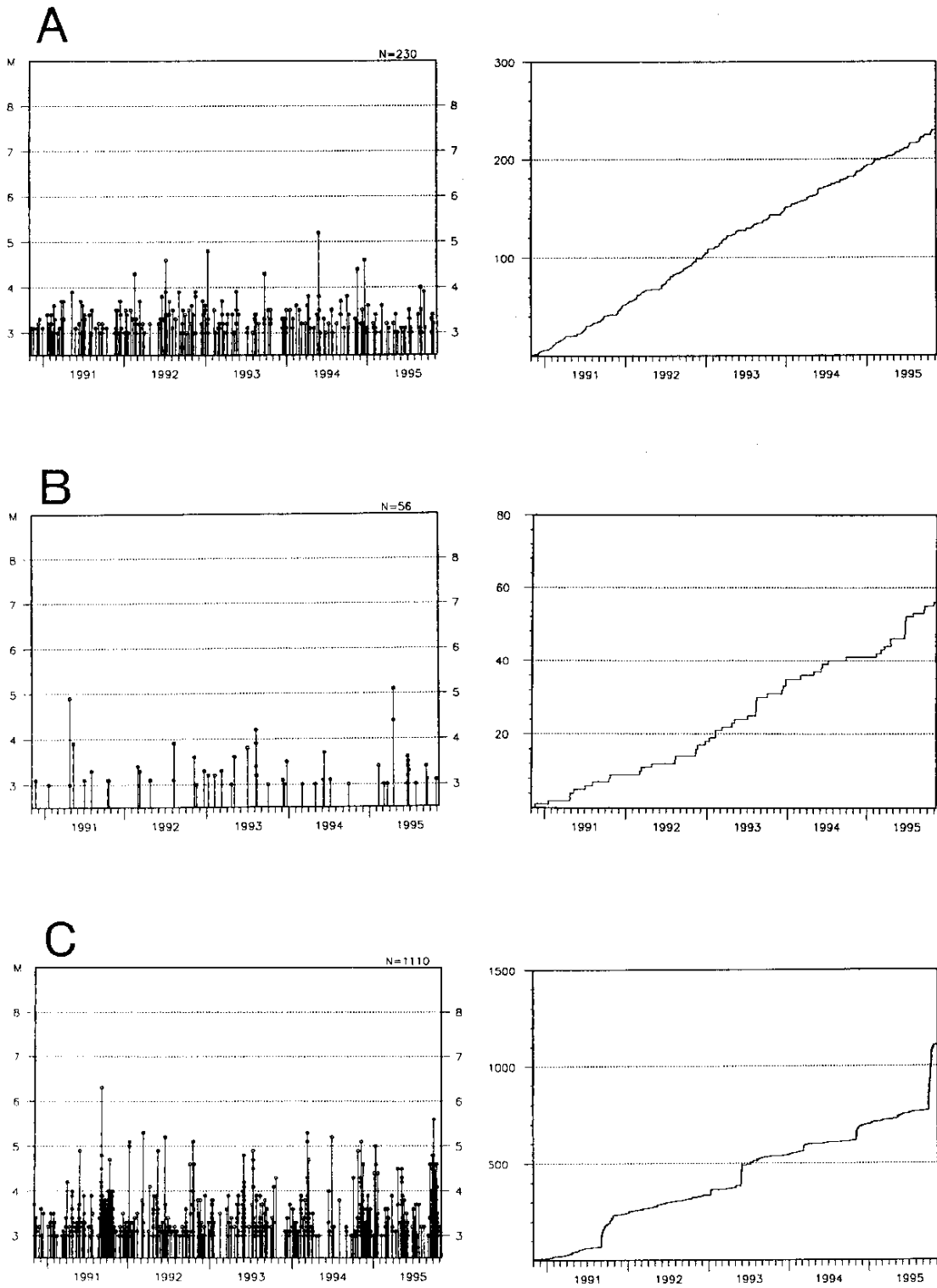
: 震央分布, : 時空間分布, : M-T図, : 地震回数積算図

Fig. 1 Seismic Activity in A, B, C regions in the Tokai District for 5 years (November 1, 1990-November 9, 1995: M 3.0, depth 60km)

: Epicentral distribution, : space-time plot, : M-T diagram, : cumulative number of earthquakes.

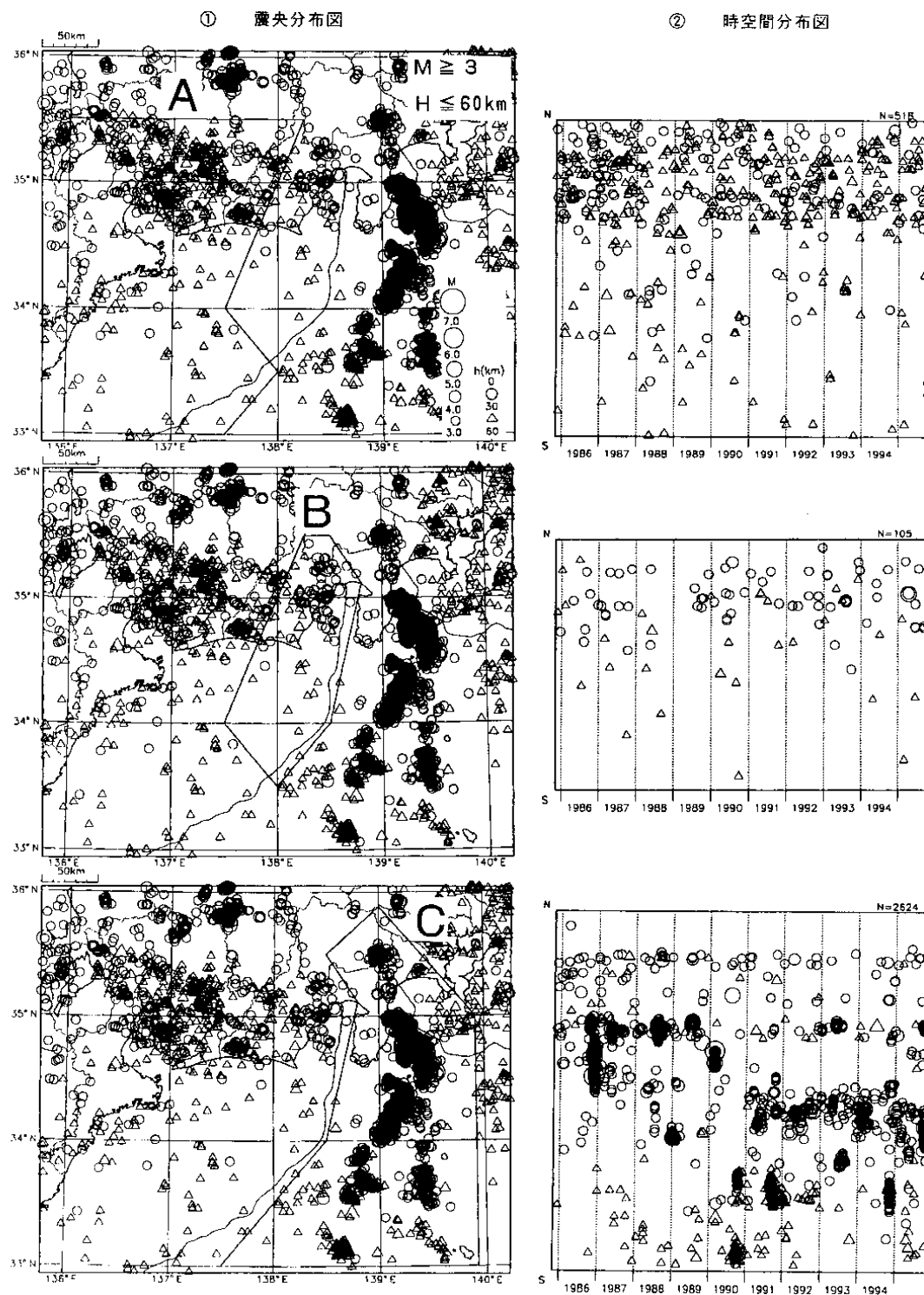
③ M-T図

④ 回数積算図



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)

東海地方における地震活動の変化 -- (2) 10年間(1985.11.1-1995.11.9)



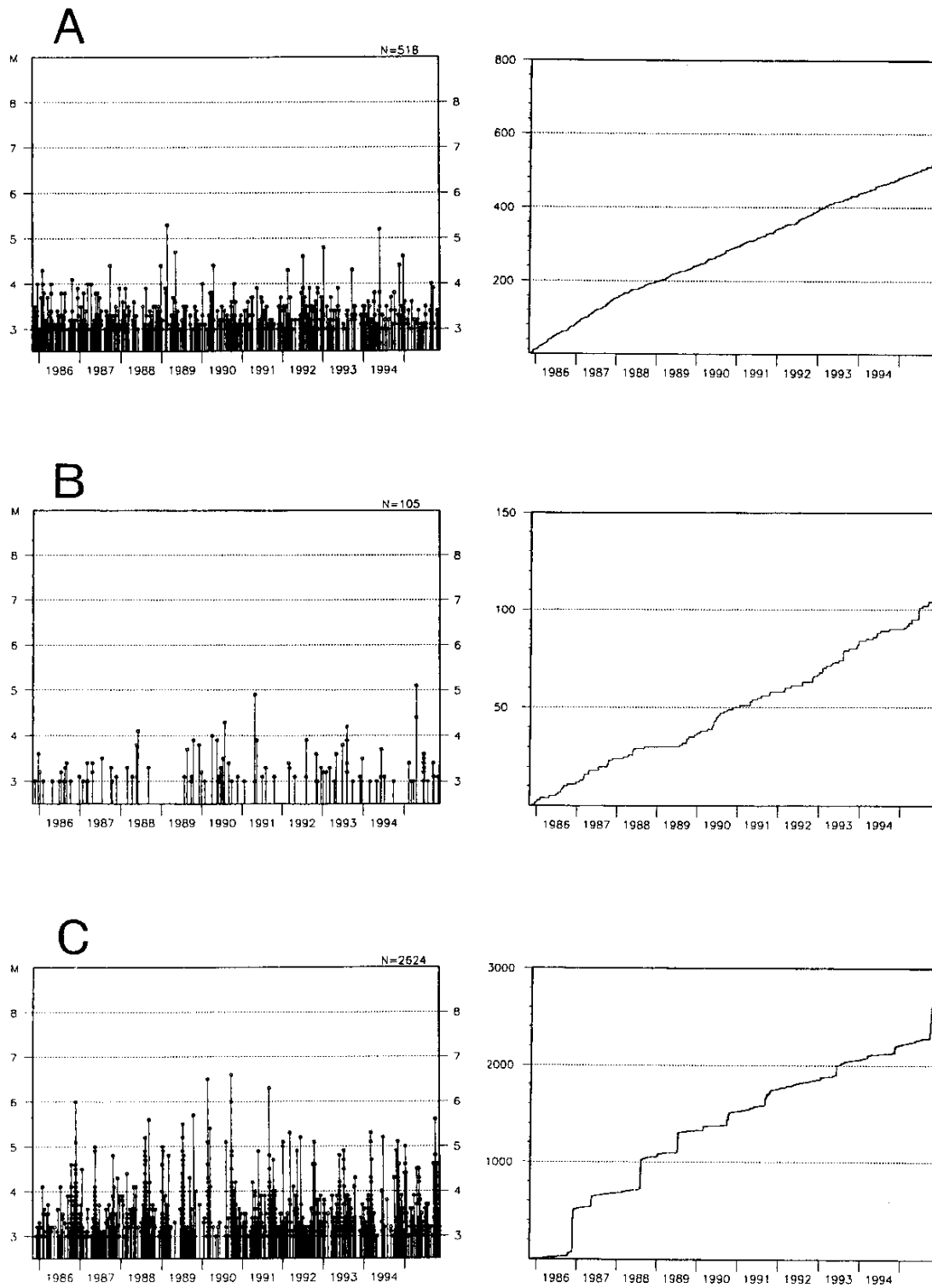
暫定 (気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 東海地方のA, B, C領域における10年間の地震活動(1985年11月1日~1995年11月9日: M3.0以上, 深さ60km以浅) : 震央分布, : 時空間分布, : M-T図, : 地震回数積算図

Fig. 2 Seismic Activity in A, B, C regions in the Tokai District for 10 years (November 1, 1990-November 9, 1995 : M 3.0, depth 60km) : Epicentral distribution, : space-time plot, : M-T diagram, : cumulative number of earthquakes.

③ M-T図

④ 回数積算図

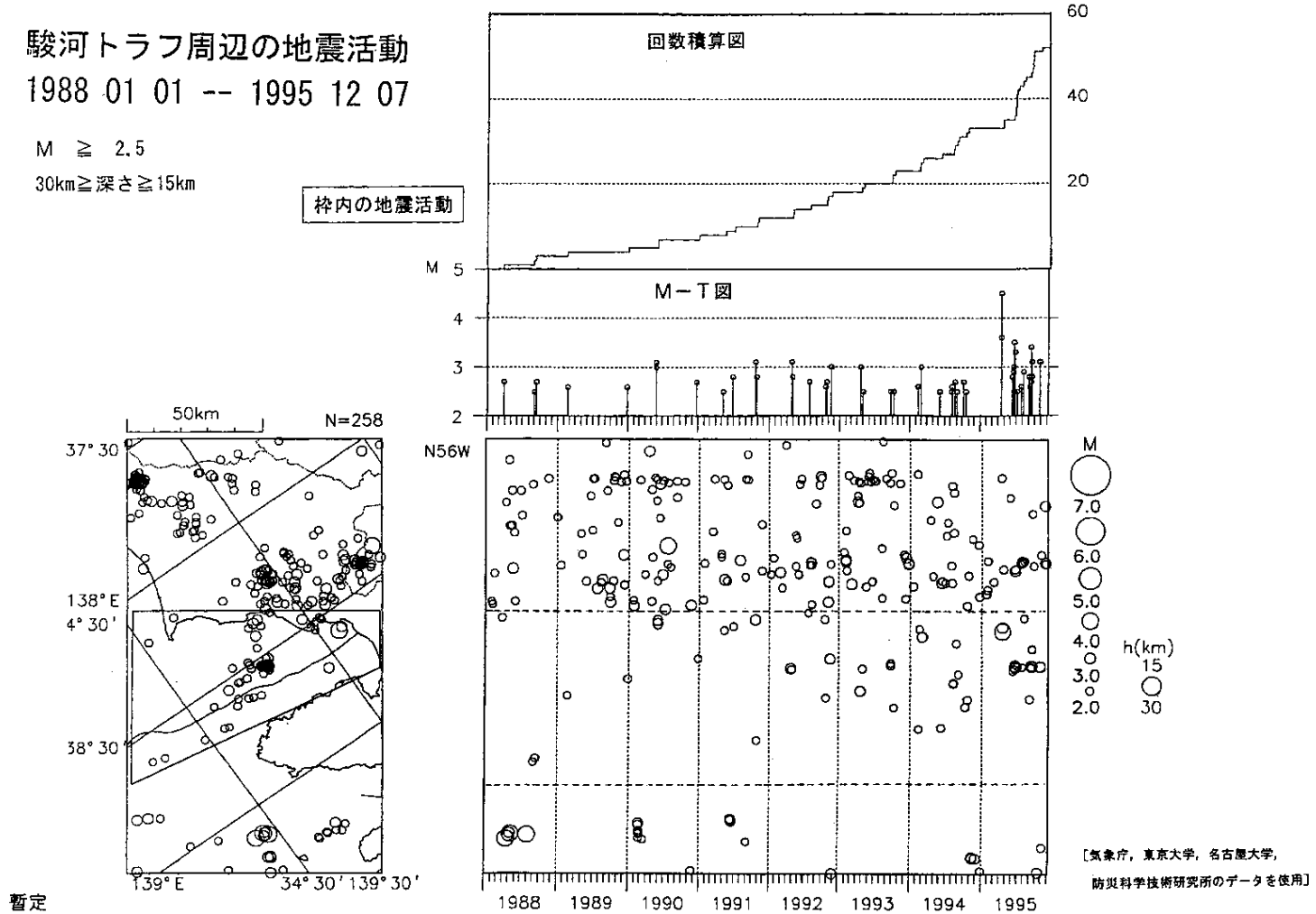


第2図 つづき
Fig. 2 (Continued)

駿河トラフ周辺の地震活動
1988 01 01 -- 1995 12 07

M ≥ 2.5
30km ≤ 深さ ≤ 15km

枠内の地震活動



第3図 駿河トラフ周辺の地震活動 (1988年1月1日~1995年12月7日)

左図：震央分布図，右上図：左図台形枠内の地震活動の回数積算図とM - T図，右下図：左図全体の時空間分布図

Fig. 3 Seismic Activity in the Suruga trough (January 1, 1988-December 7, 1995)

Left : epicenter map, Upper right : cumulative number and M-T plots of earthquakes in the frame region, Lower right : space-time plot of earthquakes in the map.